大切なお客さんをもてなすとき
あなたは、その両手で何を
差し出しますか？
きっと、おもてなしの心・真心も
込めているはずです。
心に響く感動、
心が動くと人は動きます。
せたなは、
そんな「感動の旅」ができるまち
であってほしいと思います。

観光 特集

ご存知ですか？せたなの観光状況

■減る観光客

檜山は、北海道の中で、最も観光客が少ない地域です。その檜山の過去3年間の観光客数の推移を図1に示します。

檜山の中で、一番人口の多いせたな町は、2番目に人口の多い江差町より観光客が少ないことがわかります。しかし平成18年度は、唯一せたな町だけが観光客数が増加しましたが、平成19年度では、前年度に比べてマイナス10％と管内一の減少となってしまいました。

一方宿泊者数は、図2より檜山管内一多い事がわかります。

図1 檜山の観光客数の推移

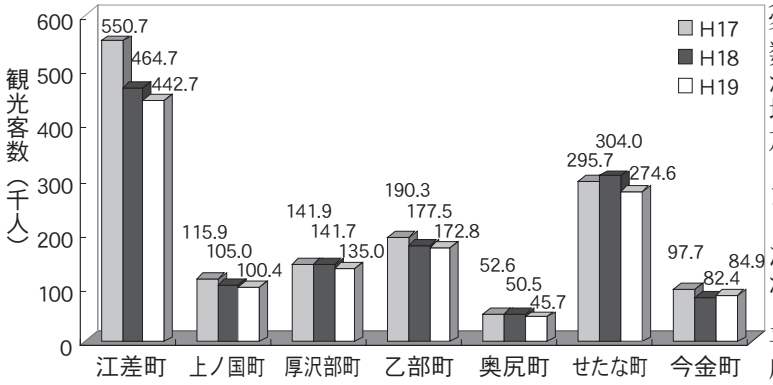
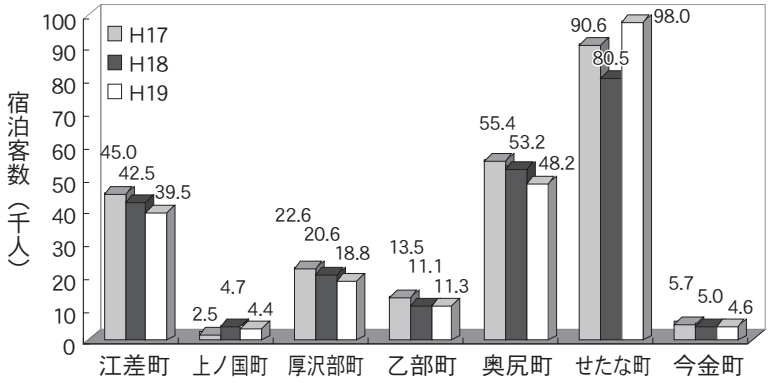


図2 檜山の宿泊客数の推移



■交流人口を増やそう

せたな町は、過疎化、超高齢化、少子化により人口減少が進んでいます。その中で、地域の活性化、地場産業の活性化を図るためには、町外からせたな町を訪れる交流人口の増加を図ることが必要です。

花の達人！ついにツアーを誘致

井上義夫さん（北檜山区）
北海道フラワーマスター
押し花インストラクター

7月11日（金）、北広島市からオープンガーデンのツアー客70名が北檜山区松岡の井上義夫さんの花公園のほか、区内3軒の庭を訪れました。井上さんは平成12年から約9,000坪のこの敷地を花公園として整備。道内のガーデニング誌「オープンガーデン オブ 北海道」にこの花公園が掲載されたのがきっかけで、今回、北広島市花の愛好会が大型観光バス2台で訪問しました。この北広島市花の愛好会の会員は現在162名。始めは16名から始まったといいます。「北檜山には素晴らしい個人の庭がある。私たちも始めは個人から始まったんだよ。」とエールを送られました。

昼食には、井上さんなどガーデニング仲間から北檜山産のメロン「キングメルティー」が全員に振舞われ、その美味しさに、買い求める参加者が相次ぎました。

井上さんは、「ガーデニング仲間の輪を広げて、将来的には荻野吟子さんゆかりの瀬棚から今金までを花の吟子ロードとして町の観光に貢献したい」と今後の意欲を語ってくれました。

広大な敷地には、「素晴らしいね」「ステキだね」など感動の声があふれていました。